

家庭数 校長室だより（児童数 739名）



夢に向かってまっすぐに

平成31年3月20日 (No.14)

※昨日3月19日に卒業式で配付したものと同じ内容です。



銀も金も玉も何せむに 勝れる宝 □に及かめやも

（『万葉集』より 山上憶良）

向小の森では、今、シキザクラが満開となり、6年生の中学校に向けた期待と躍動感に溢れる姿と重なります。本日、卒業を迎えた139名の皆さん、本当におめでとうございます。保護者の皆様におかれましては、これまで手塩にかけて育ててこられた日々が思い出され、喜びもひとしおのことと存じます。また、これまで向陽台小学校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力を賜りましたこと、心から感謝申し上げます。卒業式が子供たちの心に残る温かい式になるように全職員で準備を進めて参りました。手狭な会場でご不便をおかけいたします。どうぞお許しください。



▲満開のシキザクラ

さて、表題の句は、山上憶良によるものです。憶良と言えば、「貧窮問答歌」が有名で、歴史で習った記憶のある方も多いと思います。さて、□には、漢字1字が入りますが、どんな漢字でしょうか。いくつかヒントを出させていただきますと、「何せむに」というのは、この場合「何になるだろう・・・」「どれほどのものだろう・・・」という意味になります。「及かめやも」は、この場合「及ぶだろうか（いや、及ばない）」という意味が当てはまると思います。「銀や金や玉（宝石）も、いったいどれほどのものだろうか。□という宝に勝るものがあるだろうか、あるはずがない」となります。・・・保護者の皆様は、もう何となく答えが浮かんでいると思います。答えは「子」です。山上憶良は、とても子煩悩だったことでも有名です。どんな財宝よりも、子という宝に勝る宝はない・・・。いにしえから現代まで、子を思う親の気持ちというのは、本当に深く変わらないものだと思えます。

139名の卒業生は、これからそれぞれ中学校に進学します。これから訪れるであろう思春期の荒波に、友達や先生、時には保護者の皆様とぶつかることもあるでしょう。私たちの世代が経験した思春期の頃以上に、子供たちを取り巻く環境は、驚くほどの速さで変化しています。想定外のことに対応する柔軟さや困難を克服しようとするチャレンジ精神など、これまで以上に求められる時代です。変化に流されることなく、疲れたら立ち止まって自分を見詰める時間も大切です。焦らず、じっくりと自分と向き合ってください。乗り越えた先には、一回りも二回りも大きく成長した自分があるに違いありません。

1か月後には、平成に代わる新たな元号が発表される節目の年に、中学校生活の第一歩を踏み出そうとする皆さん。そして、その後ろ姿を常に目標として追いつけながら成長してきた在校生の皆さんは、まさに次の時代の担い手となる大切

な人材＝人材でもあります。この一年間の学校生活で、「あったか言葉」「きらきら行動」の取組を通して、『心豊かでたくましく生きる』子供たちに近付いていましたら幸いです。

次年度、一つずつ学年が上がり、一段高い目標に向かって歩み始めます。課題や困難を学びに変えていく意識が大切です。大人の役割は、子供が一人では越えられそうもない課題や困難に出会ったときに、越えられるように支援することだと思っています。憶良の句のように、子供はどんな宝物よりも大切な存在です。一方で、「子供を不幸にする一番の方法は、何でも手に入るようにしてあげることである（ルソー）」という言葉にも重みがあります。援助し過ぎては、せっかくの乗り越える機会を奪ってしまい、成長を妨げてしまうことにもなりかねません。私たちは、その場の課題の解決だけに主眼を置くのではなく、子供たちの様子を共有しながら、困難を乗り越えさせる最良の方法を考えるよう努めたいものです。

今年度も、本校の教育活動へのご理解とご協力、本当にありがとうございました。次年度も「ひまわりのように 夢に向かってまっすぐに」に取り組む向陽台小学校へのお力添えをどうぞよろしく願いいたします。

「向小ソーラン」を引き継いで！

先週3月13日（水）、6年生が運動会で踊った「向小ソーラン 2018」を、5年生に引き継ぎました。今年の運動会で見せてくれた6年生のソーランは、風を切る音が聞こえてくるくらい切れが良く、気合いを感じる圧巻の演舞でした。

卒業式では、小惑星探査機「はやぶさ」を題材に子供たちに式辞を述べたいと思います。このはやぶさプロジェクトは、エンジニアや科学者のチームが課題に直面するたびに、それを一つ一つ乗り越えた結果として、人類初となる偉業につながっています。プロジェクトチームのリーダーの一人は、「成功したこともそうでないことも、正確に引き継ぐことが、新たな課題を克服する上でとても重要である。」と語っています。卒業する6年生には、課題や困難を乗り越え、一人一人が抱えている夢のつぼみを、枯らすことなく大きな花として咲かせてほしいと願っています。

今回の「向小ソーラン」の引き継ぎを通して、6年生の熱い情熱は、きっと5年生に伝わったことと思います。来年度の最高学年として、5年生もさらに自覚を新たに作る時間になりました。来年も「あったか言葉」「きらきら行動」を合い言葉に、笑顔いっぱいの向陽台小学校目指して、頑張っていきましょう。



▲思いを引き継いで

学校経営へのご支援・ご協力に感謝！感謝！！
今年も「校長室だより」をお読みいただき、本当にありがとうございました。皆様から頂いた励ましの言葉を力に、さらに充実した学校経営に尽力して参ります。本日で、小学校のPTAを退会される皆様、6年間本当にありがとうございました。今後のお子様の成長を職員一同、心から願っております。